



ROTARY CLUB OF FUJIMI

富士見ロータリークラブ週報



インスピレーションになろう

第2106回例会 平成30年10月12日(金)
【地区国際奉仕交流委員長 大館 廣様】

NO2059
2018-10-19発行

2018~2019年度

国際ロータリー会長 **バリ・ラシン**
『インスピレーションになろう』

第2570地区 **ガバナー茂木 正**
『想いを繋ぎ地域と国の発展に奉仕する』

【会 長】横田昌則
【副会長】坂本元彦
【幹 事】星野信吾
【副SAA】浅見隆広

【点 鐘】 会長 横田昌則会員
【斉 唱】 ロータリーソング「奉仕の理想」
【ご来賓】 地区国際奉仕部門交流委員会
委員長 大館 廣様 (所沢中央RC)

【会長の時間】 会長 横田昌則会員

皆さんこんにちは
台風25号が予想の
コースから大分ずれた
ようなので、久しぶり
に穏やかな日が続いた
と思います。



しかし今年21号から続いた台風の被害がひどく、その後始末が全国的に大変な様子です。私の仕事関係から言うと、暴風の被害が多く、主に屋根が飛ばされるケースが多いです。少し年数の経った屋根ですと、互とかコロナアルも飛ばされることもあるようです。自分のところで扱っているものと、主にテラス・ベランダの屋根の被害が多く出ています。いわゆる波板という屋根材ですが、今はポリカーボネイト板という、衝撃とか劣化に強い樹脂製になっていますがそれ以前の塩ビ製のものは劣化すると弱く、被害に合うものが多いようです。この近くでも24号の被害が多く、屋根材が間に合わない状態になっています。大工さん、板金屋さん、リフォーム工事屋さんが今忙しいところですよ。

10月は米山月間であり、次週は米山記念奨学生の卓話も予定しています。島崎部門委員長のお話もあると思いますが、米山セミナーの報告がまだでしたのでこの時間に報告させていただきます。

2018年7月8日(日)東松山紫雲閣に於いて、13:30点鐘にて行われました。富士見クラブからは、地区役員の柳田会員と私の二人で参加してきました。茂木 正ガバナー挨拶ではガバナーの地区テーマ『想いを繋ぎ地域と国の発展に奉仕する』ですが、米山記念奨学会も米山梅吉翁の想いから、それを記念したものであり、その想いを繋ぎ奨学生を支援し、さらに奨学生が母国と日本の架け橋となり、世界平和に繋がっていくのです。それぞれの想いがステップアップしていくものだと思います。島崎米山記念奨学部門委員長の趣旨説明の中で、米山記念奨学事業は、経済的に困っている学生への救済でも、特別な学業研究の奨励でもありません。母国と日本の懸け橋となるような人材を育てる、いわば教育事業でもあるといえます。その教育を受け持つのが世話クラブであり、カウンセラーの皆さんです。クラブでの活動を奨学生も一緒になって体験し、日本の素晴らしさ、日本人の気遣い、おもてなし、思いやりを肌で感じてもらい、母国に、特に奨学生の多い中国、韓国、台湾、ベトナムへ世界平和への願いを持ち帰ってもらいたいという事でした。現在、第2570地区におきましては、継続奨学生3名、新規奨学生12名、計15名の奨学生をカウンセラーの皆様にお世話になり、各クラブに受け入れをお願いしています。来年3月まで宜しくお願いしますとのことでした。今後の事業として、秩父音頭まつり、米山梅吉記念館への墓参を含む研修旅行、カウンセラー会議、クリスマス会と予定しているそうです。セミナーの開催趣旨としては寄付増進のお願いだそうです。まず、クラブ会長をはじめ米山委員長に、米山記念奨学事業に理解を深めていただき、さらにクラブ会員の方々にも広めていただき、寄付に増進を図っていただきたい。

奨学生の受け入れ人数はその地区の留学生数、また前年度の個人平均寄付額、地区の寄付総額等によって 決定されます一人でも多くの奨学生を受け入れて多くのクラブにてお世話して頂くためにも、当地区では目標として一人当たりの平均寄付額が15,000円になるようお願いいたしますとの事でした。(普通寄付+特別寄付) 第2570地区の寄付額は、全34地区中24位だそうです。寄付額も全国平均寄付額を下回っているようです。因みにお隣の第2770地区寄付額は3位だそうです。当クラブでは、普通寄付が一人半期3,000円、年間6,000円が決まっています。残り一人9,000円ですが、45名×9,000円で405,000円となり、特別寄付の人数4名でほぼ目標の金額になる計算です。今年度の特別寄付もよろしくお願ひします。その後、『ロータリー米山記念奨学生となって』というテーマで、奨学生によるスピーチがありました。共通してロータリークラブへの感謝の言葉として経済的不安の解消、生活の安定感、学業への専念、仲間・家族が出来心の安定、自分に変化をもたらす精神的な支えになり、自信をもって活動できるようになった。日本の文化、ロータリーの精神などを学び、文化の違いを再認識し、理解中には今から母国との懸け橋になりたいという夢も出てきました。また継続奨学生はロータリーが家族になった。自分に変化をもたらす、成長できた。例会でのスピーチも自信をもって話せるようになった。ロータリーの活動を通じて、他人のための奉仕活動、やさしい心と自信をもって行動することが出来るようになった。このようなスピーチを聞いてきました。もちろん朴東民君も素晴らしいスピーチをしていました。

【幹事報告】次年度幹事 奥田功次会員

1) 例会変更の件

1. 志木RC

11月14日(水)→同日移動例会 点鐘18:00

『小諸ロータリークラブ55周年記念式典』

場所: 小諸グランドキャッスルホテル

11月28日(水)→同日 移動例会 点鐘18:00

『秋のミュージック鑑賞例会』

場所: ベルセゾン

2. 新座RC

11月15日(木)⇒

移動例会 点鐘12時30分

「新座市役所表敬訪問」

11月22日(木)⇒

夜間例会点鐘19:00

「会員親睦会」リストランテ「パーシモン」

11月29日(木)⇒定款による例会取消

3. 志木柳瀬川RC

11月 1日(木)⇒10月28日(日)

「川と街をきれいにする運動」岸辺の清掃

8:20 集合 場所 富士見橋

4. 当クラブ

10月26日(金)→移動例会10月27日(土)

ふるさと祭り

11月 2日(金)→移動例会 11月 4日(日)

諏訪の森清掃活動

11月16日(金)→移動例会 11月22日(木)

夫人同伴バス旅行

ヤクルト本社湘南化粧品工場

11月23日(金)→祭日につき休会

11月30日(金)→移動例会 12月 1日(土)

うた声フェスタ

2) 次の書類を回覧します

1. End Polio Nowリソースのご案内

2. 訃報・故 古谷一生様(熊谷西RC)

3. 志木柳瀬川RCの会報

3) 第6回目の理事会報告は掲示と各会員に配布

【第6回理事会報告】

開催 平成30年10月5日 例会場

* 確認事項

1. 10月のプログラム

12日(金) 卓話⇒大館 廣氏(所沢中央RC)

開会前に、キラリふじみ職員による、自主事業のPR

19日 会計報告

卓話⇒米山記念奨学生

タンワンキーさん

26日 移動例会(27日)

富士見市ふるさと祭り

* 協議事項

1. 富士見市国際友好協会バザー品の提供について
⇒今回は辞退をすることで確認

2. 卓話お礼の件⇒米山記念奨学生には5000円のお礼で承認

3. ふるさと祭りの件⇒詳細については15日の炉辺会合で決定



4. 11月のプログラム

- 2日(金) 4日の諏訪の森清掃活動に変更
(移動例会)
- 9日 卓話⇒ロータリー財団に依頼中
- 16日 移動例会により、22日の夫人同伴例会に変更
ヤクルト本社湘南化粧品工場
- 23日 祭日につき休会
- 30日 移動例会により、12月1日の歌声フェスタに変更 場所「キラリ☆ふじみ」

5. 夫人同伴例会の件

会費、男性12000円、女性6000円
欠席会員2000円

6. 会員証の件

自前で会員証を発行することで確認。
詳細は会長一任

7. ネクタイの件

様々な理由で、再度クラブネクタイを注文される方は、自己負担とすることで確認

8. 故斎藤正司氏への年会費返還の件

9月28日例会終了後、会長・幹事で斎藤宅に訪問、返還。

*その他

- 12月14日の例会、帰国報告会を予定
12月21日の例会、会員による卓話を予定
- 最終例会について
2019年6月20日(木)を予定
⇒場所を変えて東京方面で行なつてはという意見が出る。今後継続協議。
- 次期ガバナー推薦の件
地区から来たガバナー推薦について協議したが、当クラブには該当者がいないことを確認

【委員長報告】

本日はありません

【出席報告】委員長 尾崎孝好会員



10月12日	正会員数	免除会員	出席率
会員数	45名	10名	
出席数	19名	7名	63.4%

【ニコニコBOX】委員長 尾崎孝好会員

大館 廣様(所沢中央RC)
国際交流委員会の大館と申します。本日は卓話にお招きいただきありがとうございます。
横田昌則会長、隈川貴久男、秋元伸一郎会員
江澤康夫、奥田功次、桑原福治、齊藤英雄会員
坂本元彦、下山定夫、長根章浩、西崎哲章会員
羽石 隆会員

大館様、ようこそおいで下さいました。卓話宜しくお願ひ致します。
江澤康夫会員
先日の7日の日曜日に開催させて頂きましたみずほ台小学校地区体育祭にご臨席を頂きました、横田正志会員・尾崎孝好市議会議長様・齊藤茂会員・増田茂様の弟様並びに競技に参加頂きました星野信吾幹事の皆様には誠に有難く厚く御礼申し上げます。

江澤康夫会員
東上フェスタ2018を明後日の14日(日)午前10時よりキラリメイン会場と文化の杜で開催をさせて頂きますのでご来場下さるよう、お願ひ申し上げます。

横田正志会員
誕生祝、有り難うございました。
横田正志、奥田功次会員
結婚祝、有り難うございました。
尾崎孝好、押田英之、島田敏郎、森田仁一会員
早退、致します。
横田正志、奥田功次、齊藤英雄会員
前回、欠席しました。 本日合計¥30000

【紹介】委員長 桑原福治会員

地区国際奉仕部門交流委員会委員長の大館 廣様に「地区国際交流委員会の事業について」の卓話をして頂くためにお呼び致しました。
又、皆様に第43期期生日豪青年相互訪問団員候補者募集案内のチラシもお配りしています。本日はよろしくお願ひ致します。



【卓話】

「地区国際交流委員会の事業について」

国際奉仕部門交流委員会
委員長 大館 廣様(所沢中央RC)



本日は卓話にお招きいただきありがとうございます。地区の国際奉仕部門は二つの委員会があります。一つは国際支援委員会でフィリピン、ミャンマーなどに学校建設や文具などを送る事業を行っております。一方、私どもが担当する国際交流委員会は、オーストラリア・パース地区と青年並びにロータリアンが二週間、相互に訪問する事業を行っております。



この日豪相互訪問の一番のポイントはホームステイにより家族と同様の交流を行うことにあります。起居や食事を共にし、お互いの文化や生活、考え方などの違いを理解することにより、ひいては日本の文化や歴史を学ぶ絶好の機会となります。ホームステイには主に二つの抵抗があります。一つは言葉の問題です。しかし、現在では翻訳アプリという機能を使えばこの問題は難なく解決します。英語を話す相手にアプリをかざせば直ちに日本語で答えてくれます。日本語から英語も同様に答えてくれますので何ら心配はありません。問題は家庭で受け入れる際のご家族、特に負担の多い奥様の抵抗です。食事や洗濯、日常での何気ない会話などをご心配される方が多く見受けられます。何か特別なことをしなければと考える方が多いのですが、そのようなことは全く必要あ

りません。普段通り家族と同様に接していただくことが大事です。また、彼らもそのように願っております。

過去の当委員会の経験から一度受け入れを経験された家族は楽しかった、貴重な経験ができたと喜んでいただいておりますし、多くが以後も家族として交流を続けています。

二週間のホームステイの経験により子供は驚くほど変わります。

また、受け入れた家族はホームステイの壁を超えることにより、今までと全く違う景色を見ることが出来ます。

是非、青年ならびにロータリアンの皆様をご参加されることをお勧めいたします。ご清聴ありがとうございました。



【点鐘】会長 横田昌則会員

例会日	毎週金曜日
時間	12:30~13:30
事務所	〒354-0022 富士見市山室2-10-10 島田ビル201号
電話	049-251-6596 FAX049-252-3848
例会場	島田ビル1F
Eメール	fujimi-re@nifty.com

会報・IT委員会 週報担当:西崎哲章
委員長:西崎哲章 副委員長:平岡直也
委員:日鼻 靖 長根章浩 浅見隆広